

チャレンジしよう！ 調べ学習コンクール

図鑑や事典を開いて「へーそうだったの、おもしろいなあ」と思うことがあります。それが自分しか知らなかったりするととても嬉しくなりませんか？。魚大好きな「さかなクン」もきっとそうだったのでしょう。ノーベル賞もそこがスタートかもしれません。さあ皆さん！気になるってること、小さな疑問、何とかしたいと思っていること、調べてみませんか？

- (1) テーマ：自由
 - ◆ 日常生活の中で生まれた疑問や興味をもった事柄
 - ◆ ふるさとの産業、歴史や文化など、もっと知りたい事柄
 - ◆ 国語、理科、社会、総合的な学習の時間など、学校の学習活動から発展させた事柄
 - (2) 募集部門
 - ◆ 小学生 低学年の部（1年生～3年生）
 - ◆ 小学生 高学年の部（4年生～6年生）
 - ◆ 中学生の部（1年生～3年生）
 - (3) 応募規定
 - ◆ 対象 平成29年1月から平成29年9月までの作品を応募の対象とする。
 - ◆ 形式 自由（例：A4冊子、模造紙）
 - ◆ 枚数 自由（別紙「調べ学習の進め方」を参照）
 - (4) 応募期間
 - ◆ 平成29年9月1日(金)～平成29年9月29日(金)
 - (5) 作品の作成とポイント
 - ◆ 調べようとしたきっかけ、調べた内容、調べてわかったこと、感想やまとめ、参考にした資料名を記入する。
 - ◆ 学校、家庭での学習活動で個人またはグループの作品
 - ◆ 学校の図書室、佐伯図書館、公民館等の資料で調べた事柄のほかに、インターネット、聞き取り、観察等で分かった事柄を効果的に使用する。
 - ◆ 理科作品展の作品に応募することができる。しかし、他の調べ学習コンクールに発表したものは除く。
- ※詳しくは別資料「調べ学習の進め方」を参考に面白い作品にしてみよう。 ➡
- (6) 表彰式、賞については以下のとおりとする。
 - ◆ 平成29年12月初旬の予定
＜入賞者には、日時等を郵送で連絡する＞
 - ◆ 市長賞・市議会議員賞・教育長賞・特定非営利活動法人カルチャー佐伯理事長賞・図書館長賞・審査委員長賞・優秀賞・入選
 - ◆ 入賞作品は図書館に展示し、市民の皆さんに公開する。
 - (7) 応募方法
 - ◆ 「申込用紙」に氏名、学校名、住所、利用した図書館、資料名等を明記し、出来るだけ学校で取りまとめて提出願います。

<問い合わせ先>

〒876-0843 佐伯市中の島2丁目20番33号

佐伯図書館内「調べ学習」コンクール作品係 (Tel.24-1010)

担当：佐藤



<資料> 調べ学習の進め方



1. テーマを決める ➡ 小さなテーマにしぼって

自分の興味や関心のある小テーマを選んだり、しぼり込んだりすることが大切です。日常生活の中で疑問を持ったり興味がわいたりしたことを、紙に書きだして具体的に取り上げるといいでしょう。その中から選びます。選び方は、調べるための資料はあるか、調べる手立てはある程度予想できるか考えて決めるといいでしょう。あまり大きなテーマにしないことが大切です。小さなテーマに絞り込んでいくと、より専門的な詳しい調査ができて自分らしさのある調べ学習になります。

2. テーマに関する基本的な知識を知る ➡ メディアを使い分けて

まず百科事典や辞典など<レファレンス・ブック>を使って基本的な知識を得るようにします。そのうえで、詳しく書かれた専門書を見たり、インターネットで調べたりするといいでしょう。

▽新しい情報がほしいとき ➡新聞・雑誌・インターネット

▽歴史的なことを知りたいとき ➡歴史書・歴史事典・年表

▽図や写真がほしいとき ➡図鑑・写真集・インターネット

▽統計やデータがほしいとき ➡白書などの統計資料・インターネット

<レファレンス・ブックとは>百科事典、辞典、図鑑など調べるための本をレファレンス・ブック（または参考図書）といいます。

ことばを調べる ➡ 国語辞典、漢和辞典、外国語辞典など

人物を調べる ➡ 人名事典、人物事典、百科事典など

出来事を調べる ➡ 時事用語辞典、年鑑など

統計・データを調べる ➡ 白書、年鑑など

地理・地名を調べる ➡ 地図、地名辞典、ガイドブックなど

動物・植物を調べる ➡ 図鑑、百科事典など

3. 図書館をうまく利用する ➡ 調べ方・手順を相談する

まず、佐伯図書館へ行ってみる。図書館には必要な本や雑誌、新聞、視聴覚資料などが揃えてあります。探している資料が見つからない場合は、図書館の先生に相談してみましょう。図書館の先生は常に必要な資料を紹介したり、調べ方についてアドバイスしたりしています。これは、「レファレンス・サービス」といって、図書館の大事な機能の一つです。遠慮しないで、わからないことはどんどん質問してみましょう。

4. 本の丸写しはしない ➡ 自分の考えをいれて短くする

本を丸写しただけ、インターネットの情報をコピーして貼り付けただけ、で終わりという人がいます。これでは、情報を集める作業をただで学習したことにはなりません。テーマに関する情報を集めたら、それをよく読みこんで自分の頭でいろいろ考えることが大切です。いくつかの資料を比較したり、「どうしてそうなるのか」その理由や背景などについて考えたりしてみましょう。考えていくなかで、わからないことをさらに調べて疑問を一つずつ解決していくと調べ学習が発展し、深みのあるものになります。

5. 著作権を守ろう ➡ 資料はすべて参考文献として記録

人の文章などを自分の文章の中で使うことを、「引用」といいます。「引用」するには条件があり、これを守らないと「著作権」を侵害することになるので気をつけましょう。

・自分の文章が「主」で、引用部分は最小限であること。

・引用部分がどれか、カギカッコなどをつけて明確にすること。

・出所を明示すること。（著作者名、著作物のタイトル、発行年）

調べる際に使った資料は、すべて参考文献として記録しておきます。本の場合は「著者名、書名、引用ページ、出版社、発行年」など。インターネットの場合はWebページの「制作者、タイトル、URL（アドレス）、閲覧日」などを記載します。

6. 自分のことばでまとめる ➡ 調べたことを発表する

集めた資料をただ書き写すのではなく、情報を整理し、それをどういう順序でまとめれば、よりよく読み手に伝わるかを工夫しましょう。文字は読みやすい字で丁寧に書くこと、グラフ、図、写真など効果的に使うことも大切です。

最後に、結論を整理してまとめます。これが一番肝心なところです。調べながら考えたこと、発見したこと、調べ終わっての感想など、自分ことばで書いておきましょう。